

大いなる旅路 (1960)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 95分

初公開日 1960/03/08

【解説】

加藤秀男の原作を新藤兼人が脚色し関川秀雄が監督した。主演の三国連太郎はこの作品でブルーリボン賞主演男優賞を受賞。汽車が雪崩に巻き込まれるシーンは、国鉄の協力の下、実際に汽車を脱線転覆させて撮影された。

大正末期の盛岡。国鉄の機関士助手を務める岩見浩造は、親友の佐久間太吉だけが試験に合格したため荒れていた。しかし先輩の橋本機関士が雪崩に遭遇し機関車もろとも死んでしまい、機関車の安全運転に努めることを決意する。漁師の娘ゆき子と結婚し三男一女をもうけるが、長男は戦死、長女は親の反対を押し切って男と出て行った。次男は東鉄教習所へ行くが、予科練へ行った三男は東京へ向かい行方知れずとなってしまう。

【クレジット】

監督 関川秀雄

製作 大川博

企画 岡田寿之
斎藤安代

原作 加藤秀男

脚本 新藤兼人

撮影 仲沢半次郎

美術 森幹男

音楽 斎藤一郎

出演 三国連太郎

高倉健

南広

梅宮辰夫

中村賀津雄